



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

# すまい造りメール

第204号 2019年3月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成31年2月28日  
発行元有限会社佐野工務店  
〒237-0068  
横須賀市追浜本町1-25  
TEL 046(865)4010  
FAX 046(865)6139  
http://www.sano-k.net/  
info@sano-k.net

## もうすぐ春ですね

今年の冬は寒暖差が大きかったですね。家の中でも特に温度差が大きい浴室にヒートショックを予防する（暖かい居間などから温度差のある浴室への移動の際に血圧がジェットコースターのように急上昇したり、急降下したりするリスクを減らす）目的で電気式の乾燥機付き暖房機を設置しました。入浴前に浴室内の室温を上げておくことで、入浴中に意識を失うといったことが起こらないようにするためです。

乾燥機の機能が付いたタイプなので、浴室内にポールを設置して、梅雨時の洗濯を乾か



すときにも、また、花粉症のこの時期にも有効活用ができそうです。

## The Dock Of The Bay

ソウルミュージシャンのオーティス・レディングは1968年に「ドック・オブ・ベイ」で全米ナンバーワンを記録しました。



歌詞の内容は、希望を求めて生まれ故郷のジョージアを離れ、サンフランシスコ港に向かったものの、やることなく、波止場に腰掛けて、潮の満ち引きを眺めて時間を浪費しているといったちょっと虚脱感のある内容ですが、今夏完成予定のファーム新施設の「DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA」はとてもエキサイティングです。ゆっくりと腰掛けてなんかいられません。「口笛が特徴的な心地よいメロディーのこの曲が駅メロに採用されないかな…。」

皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます  
創業 1960.1.20. 創刊 2002.4.1. Next100

## よこすか文学館

<39>

横須賀に生まれ育ち、高浜虚子の俳句理念を継承し、現在も活動を続けている俳人高田風人子のご紹介をします。

第三回（三月の俳句）  
寿福寺の  
梅に今年も  
立子の忌

高田風人子

第5句集『四季の巡りに』（2016年）所収。「立子の忌」とは、風人子の師星野立子（1903-1984）の命日3月3日。立子は高浜虚子の次女。1930年に虚子の徳瀨で、初の女性俳人による主宰誌『玉藻』を創刊しました（現在は立子の孫星野高士が主宰）。風人子は立子を敬愛し、冗談交じりにですが、「いざとなったら虚子先生よりも立子先生につく」（『一言多言抄』）と述べるほど。寿福寺は、臨濟宗の古刹で虚子、立子父子の墓があります。



洗足学園中学高校教諭 中島正二

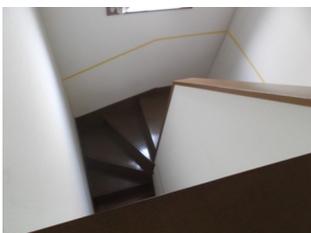
介護保険住宅制度を利用した住宅改修工事を担当させていただいたお住まいをご紹介します。

2階に寝室があるので、階段の昇降時の危険防止のために手すりが必要となりました。施工前に予めテープを貼り、手すりの位置と高さのイメージを確認していただいていたから設置しました。

## 「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

内側の手すりは設置せず、外側の連続性のある手すりを設置しました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ビフォー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



# 横須賀製鉄所物語（ヴェルニーの帰国①） <51>

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

1876年（明治9年）3月13日ヴェルニーはフランスに向け帰国します。はたして、徳川幕府の小栗上野介・栗本鋤雲らの思い描いた横須賀製鉄所を具現化し、日本の近代化に大きな貢献をしたヴェルニーは、明治維新後にそれらを引き継いだ明治新政府から感謝の念を持って見送られることになったのでしょうか。いえ、そうではありません。実際には、ヴェルニーの離日は複雑な思いで日本を離れることになりました。

徳川幕臣であった肥田浜五郎は、明治新政府の要請で出仕し、事実上の横須賀造船所長（横須賀製鉄所は明治4年に横須賀造船所と名称変更します）に就任します。そして、『横須賀海軍船廠史』明治8年紀5月20日によりますと「（略）本所事務改革案數條ヲ川村海軍大輔ニ提出シテ其裁可ヲ得タリ本案ノ大要左ノ如シ」と記され、その内容は8か条にわたるもので、ヴェルニーが造船所長として持っている権限を大幅に削減し、その権限を海軍省に移行するものでした。



ヴェルニーは首長として艦船の製造・艦船の船体及び艦内の修理などの権限のすべてを所有していました。その権限について『横須賀海軍船廠史』明治8年紀11月15日の記述によれば「本所創業以来既二十餘ノ星霜ヲ經テ百事殆ト整頓シタルヲ以テ海軍省ハ向後外国人ヲ本所首長ノ重任ニ置クヲ不必要ト認メ外務卿寺島宗則ヲ介シ佛国公使サンカントンニ本所雇佛人ウエルニー等ノ解雇ヲ承諾センコトヲ要求セリ」と記されています。

以上のことから、ヴェルニーに対して日本側が求めていたすべてが完了し、感謝の念を持って明治新政府の要人から送り出されたものではなかったことがわかります。

ヴェルニーと肥田浜五郎の関係を決定づけたのは、製鉄所建設の候補地について意見の相違があった点にありました。肥田浜五郎は横須賀は適地ではなく、江戸湾の奥にすべきとの意見を持っていて、再三にわたり幕府に意見書を提出しました。その理由として横須賀では外国との戦争になった場合、敵が江戸湾めざし攻め入って来た時に、最初に製鉄所が占領されてしまうので場所を変更すべきとの意見でした。しかし、ヴェルニーは工場の位置決定と、江戸湾の海防計画とは別途に考えるべきとの意見でした。

こうした意見の相違が肥田浜五郎には胸の内にあり、若きフランス人技術者の意見の正当性を認めることはありませんでした。（以下次号掲載）

（元横須賀市助役 井上吉隆）

## 新元号に使われる漢字

先月号の日本記者クラブが毎年作成する予想アンケートの設問②「新元号に使われる漢字」についてお問い合わせをいただきましたので少し調べてみました。

元号で使われる漢字の条件として、①国民の理想としてふさわしい意味を持つ ②漢字2文字 ③書きやすく読みやすい ④これまでに元号または送り仮名として用いられていない ⑤俗用されていない などがあるようです。

南北朝時代の双方を含め、元号はいままでで247ありますが、使われた漢字は下記に示したわずか72文字しかありません。はたして、これらの漢字を組み合わせた中から新しい元号が誕生するのか、厳かな気持ちで発表を待ちましょう。

永<sup>29</sup> 元<sup>27</sup> 天<sup>27</sup> 治<sup>21</sup> 応<sup>20</sup> 正<sup>19</sup> 長<sup>19</sup> 文<sup>19</sup> 和<sup>19</sup> 安<sup>17</sup> 延<sup>16</sup> 曆<sup>16</sup> 寛<sup>15</sup> 徳<sup>15</sup> 保<sup>15</sup> 承<sup>14</sup>  
仁<sup>13</sup> 平<sup>12</sup> 嘉<sup>12</sup> 康<sup>10</sup> 宝<sup>10</sup> 久<sup>9</sup> 慶<sup>9</sup> 建<sup>9</sup> 享<sup>8</sup> 弘<sup>8</sup> 貞<sup>8</sup> 禄<sup>7</sup> 明<sup>7</sup> 大<sup>6</sup> 龜<sup>5</sup> 万<sup>4</sup>  
寿<sup>4</sup> 神<sup>3</sup> 政<sup>3</sup> 中<sup>3</sup> 養<sup>3</sup> 化<sup>3</sup> 観<sup>3</sup> 喜<sup>3</sup> 雲<sup>2</sup> 護<sup>2</sup> 昌<sup>1</sup> 祥<sup>1</sup> 昭<sup>1</sup> 成<sup>1</sup> 乾<sup>1</sup> 泰<sup>1</sup>  
感<sup>1</sup> 鳥<sup>1</sup> 吉<sup>1</sup> 禎<sup>1</sup> 亨<sup>1</sup> 同<sup>1</sup> 興<sup>1</sup> 銅<sup>1</sup> 景<sup>1</sup> 白<sup>1</sup> 衡<sup>1</sup> 武<sup>1</sup> 国<sup>1</sup> 福<sup>1</sup> 斎<sup>1</sup> 靈<sup>1</sup>  
至<sup>1</sup> 老<sup>1</sup> 字<sup>1</sup> 祚<sup>1</sup> 朱<sup>1</sup> 雉<sup>1</sup> 授<sup>1</sup> 勝<sup>1</sup>（数字は使われた回数を表します）

### お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2019」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店  
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索